

## 化学療法指示書（ハラヴェン）乳癌

ID		外来・入院(号)
氏名	性別	
生年 月日	年 月 日 (歳)	

## 第( )クール

1クール21日(2週投与1週休薬)

身長	cm	主治医	
体重	kg	腎機能	正常／異常
体表面積	m <sup>2</sup>	肝機能	正常／異常
S C r		C C r	ml/min

## サイン

P r 調剤	P r mix	N s	医事
/	/	/	/

ハラヴェン 投与量 (1.4mg/m<sup>2</sup>) = ( ) mg day1, day8

年 月 日 (day 1)				サイン	
27	中心静脈注射	98	無菌(悪性腫瘍剤)		
33	外来化学療法加算	39	埋込型カテーテルによる中心静脈		
[ : ]	① 生食50mL 1V + デキサート注6.6mg 1V (5分)				
[ : ]	② 大塚生食注50mL 1V + ハラヴェン( )mg (5分) ハラヴェン1mg ( )V				
[ : ]	③ 大塚生食注50mL 1V (5分)				
年 月 日 (day 8)					
27	中心静脈注射	98	無菌(悪性腫瘍剤)	サイン	
33	外来化学療法加算	39	埋込型カテーテルによる中心静脈		
[ : ]	① 生食50mL 1V + デキサート注6.6mg 1V (5分)				
[ : ]	② 大塚生食注50mL 1V + ハラヴェン( )mg (5分) ハラヴェン1mg ( )V				
[ : ]	③ 大塚生食注50mL 1V (5分)				
年 月 日 (day 15) 休薬					

	検査データ	バイタル	副作用チェック	看護記録
月 日 (day1)		前 中 後	悪心 倦怠感 発熱 末梢神経障害	サイン
月 日 (day8)		前 中 後	悪心 倦怠感 発熱 末梢神経障害	サイン

### 投与基準

好中球 $\geq$ 1000 血小板 $\geq$ 7.5万 AST/ALT $\leq$ 100 Bil $\leq$ 2.25 その他の症状がG2以下

### 減量基準

38.3°C以上の発熱性好中球減少症、血小板<2.5万又は5万以下で輸血を必要とする場合、身の回りの動作制限を伴う末梢神経障害が出現した場合には1段階減量(1.1mg/m<sup>2</sup>)を考慮する。

再度同様の減量基準になった場合は2段階減量(0.7mg/m<sup>2</sup>)をし、それ以上の減量は投与中止を検討する。

### 主な副作用

- 悪心
- 倦怠感
- 発熱
- 発熱性好中球減少症
- 末梢神経障害
- 脱毛
- 肝機能障害
- 間質性肺炎

### 調整および投与時の注意事項

#### ハラヴェン

- 溶解は必ず生理食塩水で行うこと。
- 抜き取り量を表で確認して行うこと。